

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成25年10月24日

僕たち、普賢岳のこといっぱい学んだよ！

出前講座開講 《島原市立第一小学校 3年生》

発信元

雲仙復興事務所
専門員 氏名 矢野 秀和

平成25年10月9日（水）、島原市立第一小学校の3年生67名への「出前講座」を実施しました。

第一小学校が取り組んでいる災害学習（雲仙普賢岳災害に関する施設を見学することで、自然の怖さや復興への市民の努力を感じ取ることにより、「生命（いのち）・きずな・感謝の心」を大切にする心を育む）の一環です。

●講座内容

普賢岳の噴火災害と土砂対策について

- ・ 定点での火砕流災害（平成3年6月3日発生）
- ・ 火山とともに暮らしてきた島原の人々
- ・ 災害遺構（タクシー、消防車、農業研修所跡）
- ・ 溶岩ドーム（平成新山）
- ・ 土砂対策（監視体制・砂防堰堤・無人化施工）



●実施場所

定点

「定点」とは、普賢岳の噴火活動を正面から見る事ができた場所で、平成3年6月3日に発生した火砕流により、43名の尊い命が犠牲となりました。

大野木場監視所（大野木場砂防みらい館）

平成3年9月15日に発生した火砕流により焼失した「旧大野木場小学校」に隣接し、砂防工事実施のための監視施設、普賢岳噴火災害に関する学習施設です。

●講師

- ・ 杉本 伸一氏（内閣府火山防災エキスパート）
- ・ 峰松技官（雲仙復興事務所）

平成の大噴火は、67名の生徒が生まれる10年以上も前に発生し、今まで身近に感じる事がなかった生徒もいたようです。

次世代を担う生徒達にとって今回の「出前講座」が、自然（火山）の恵みを受けつつ、また幾多の災害に立ち向かってきた先輩達の『過去・現在』を学び、地元の『未来』を考える一助になってくれれば、と感じた1日でした。

定点・災害遺構・柿の木坂・農業研修所跡

普賢岳に向かって黙禱（もくとう）



パネルを使った杉本氏の講義



災害遺構の見学（焼失したタクシー）



柿の木坂（奇跡の柿の木）



質問タイム（疑問にお答えします！！）



緑のすき間がある施設は何ですか？



大野木場監視所（砂防みらい館）

砂防事業についての講義

「無人化施工技術」は島原で発展した、日本に誇る地元島原の土木技術です。



広大な砂防施設を見学



とっても広いなあー。こんな場所が近くにあるなんて知らなかったなあ。

じゃんけんで回答者を決めました。みんな積極的です！



「監視所」の役割

工事を安全に行うため、ここで監視しています。地震や大雨の時は、サイレンを鳴らしたりしてすぐに避難するように知らせしています。



最後にクイズで今日のおさらい！



ハイ！

火砕流の速さは時速何キロ？



時速100キロです！

大正解！